

賀正

「流水と朝日」福沢英雄氏撮影

 広報

しべつ

題字：北標津中学校1年 行田貴代

萌える海と大地・さわやか交流郷

あけまして
おめでとうございます。

本年も広報「しべつ」を
よろしくお願いいたします。

昭和63年

1
月号 No.251

ございます。



標津町長

小田桐四郎

年頭にあって

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

本年は町制施行30周年

標津町は、昭和三十三年一月一日に町制を敷いて以来今年で三十年、戦後から引き続いたあの混乱と激動を乗り越えて、今

日の隆盛をもたらしたのは、町民の英知と努力にほかなりません。

いま年頭にあたり、先人の足跡に学びつつ、思いを将来にはせ、新しい希望の出発点としたいと念じるものであります。

一九八〇年代は、財貨万能の価値感を問い直し、新しい発想のもとに真に人間本位の生活を築く時といわれ、又社会経済の転換期といわれていましたが、過ぎたる一年を顧りみずるとき予測を超える激変、激動は、驚きと嘆息を禁じ得ないところであります。

山積する課題

標津営林署の廃止問題には町民の皆さまのお力添えで何とか終止符をうつことができましたが、旧国鉄標津線問題は依然として厳しく最終的な決断を求められております。このようなさ中にN.T.T根室標津電報電話局の合理化問題が発生するなど周囲の状況は相も変わらず推移しております。しかも、昨季の後半には、地域農業の崩壊にも帰結するガットへの衝撃が国内を揺がし、その対応は本町にとって

も重大な課題として残されております。

このような中で、難色打開に向けて懸命の努力を重ねられております町民の皆さまに深く敬意を表するものであります。

明けて昭和六十三年は、町民各層の英知を集めて昨年四月スタートしました「標津町まちづくり新計画」につきまして、町政の過去、現在、未来に対する的確な認識、展望に裏づけられた地域経営にあたるため「協調ある前進の年」と位置づけまして、住民生活に豊かな実りをもたらし、町民のより高い幸せを求めた諸施策を実行してまいりたいと念じております。

対話のあるまちづくりを

具体的な施策として、標津海岸の浜を再生させるため国（建設省）が実施する養浜事業の実施、金山スキーリフトの増設、薫別漁港の整備充実、川北ふ化場の増設などに加え、カムイチエップの里づくり（標津川鮭公園構想）につきましては根室観光圏の拠点である知床、野付、風蓮、納沙布と昭和六十五年にジェット化される中標津空港の

三角点を結ぶ核となる施設として一部整備に着手してまいります。また、企業誘置についても組織体制を見直し積極的に進めるほか、今年はとくに若者、婦人層の皆さんと気軽に町政に対する意見をうかがう「対話路線」についても推進してまいる所存です。

町制施行三十年の今年は、まちづくりのシンボル・テーマ、萌（も）える海と大地、さわやか交流郷の創造に向って、活力ある生産都市標津町を七千三百町民の皆さまとともに共同の作品として建設してまいるものであります。

拙筆にあたりご家族のご健康家業のご繁昌を心から祈念し、新春のごあいさついたします。



あけましておめでとう



新春を迎えて



標津町議会

議長 菊池 十一

町民の皆様、明けましておめでとございます。

町民の皆様には、日頃町政の推進につきまして暖いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、長い間の懸案でありました。標津町農業環境改善セ

ンターと、川北地区コミュニティセンターの落成を見る事が出来ました。

両施設とも、近代的な技術の粋を集めた建物であり、農村地帯の、あるいは町民の皆様方のコミュニケーションの場として利用されるものと期待しております。

まちづくり新計画がスタート

昨年三月ひは、まちづくり新計画が議会で議決され、二十一世紀に向けての、新しい町づくりが推進されているところでございます。

この計画は十四年後（西暦二〇〇〇年）のわが町の将来像とこれを実現させるための手だてを定めたものとなっております。

その基本的方向は、外部の力に依存するだけでなく、町内の貴重な資源や可能性を最大限に生かそう。そして自主自立の知恵と力で標津町をもっと力強く豊かに、和やかな町に、との願望がこめられております。

お蔭を持ちまして、昨年も着実に発展への基盤を固めて参りましたが、ここに新年を迎え、

本町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

営林署と国鉄問題

しかし、本町をとりまく諸情勢は事のほか厳しく、特に営林署統廃合問題は、町民各位の熱意により存置が決定し、当面の過疎化を防ぐ事はできたものの、

近い将来合理化により職員が半数以下になる事が取り沙汰されております。また、JR標津線につきましても、現在まで存続に向けて運動を展開して来ましたが、法律的な存続期限を控えた年明け早々にも住民の足を守る観点からの、新しい何らかの具体的な方策を探る局面を迎えようとしています。

その他、農畜産物の自由化問題など重大な岐路に立たされております。

私も議決機関といたしましては、町民生活の安定を図るため今後更に創意工夫を重ね、町民皆様方のご期待にこたえるよう決意を新たにしております。

どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

年頭にあたって



標津漁業協同組合

組合長理事 西山 吉二

ございます。

標津町のみなさま新年明けましておめでとうございます。
昭和六十三年の輝やかしい新春を町民のみなさまとともに健やかに迎えられました事を心からお慶び申し上げます。
さて、昨年を顧みますと公共投資の追加や住宅建設の伸びなどにより、国内の景気はようやく好転して参りました。
北海道においてもこうした影響を受け、緩やかではありますが回復した中で新年を迎えております。

しかしながらご承知の通り、株価の暴落やドル安による通貨の不安定、あるいは中東戦争の行方などにより、どの様に国際経済に影響をおよぼすかによって大きく変化する事も考えられ昭和六十三年においても予断を許すことの出来ない状況下にあります。

漁業においては、一昨年のソ連の大幅な漁獲割当削減による減船で、北洋漁業は壊滅的な打撃を受けましたが、いち早く生産体制を整備したことにより、ようやく回復し、明るさを取り戻した感があります。

流通面においては依然として漁価安が続き、加えて同高の影響により更に輸入が増大し、北海道の漁業は依然として厳しい状況下で推移しております。

順調に推移したサケ・マス・ホタテ漁

こういう厳しい漁業環境下にある中で、当組合においては基幹漁業であります、ホタテ漁業および、さけ定置漁業は関係各位のご指導ご協力によりまして順調に推移しており、組合員一同衷心より感謝申し上げます次第

であります。

根付資源の大宗をなしておりますホタテ漁業については、地場採苗が軌道にのり、歴代組合長が念願し、努力してきました水揚げ五千トンの実現は昨年ようやく実現し、今後とも順調に推移出来る様努力して参りたいと存じます。

さけ定置漁業においては、これまで関係機関の特段のご指導ご協力を賜り積極的に親魚確保やふ化事業を進めて参りました結果、昨年に続いても豊漁となり、魚価についても比較的安定した価格が維持されました。

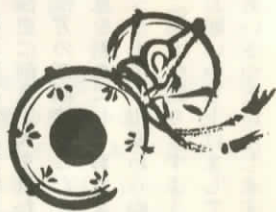
魚介類の処理加工においても町民各位のご協力を賜りました事を重ねて厚くお礼申し上げます次第であります。

今後とも各位のご指導を賜り質の良い美味な「魚」をつくる様努力を重ねて参る所存であります。

漁業指導船を新造

昨年は財政厳しき折、町の多大なご援助を賜り老朽化した漁業指導船の代船建造を行ないました。

スピードと機器類の充実を図



り、なお一層の漁場管理、資源管理が的確に把握され、根付資源の維持増大が図られるとともに水産資源保護のバトロールもより強化出来るものと確信しております。

こうした、町民各位のご協力に対し少しでも還元いたしたいと考え、ホタテ、サケの即売会を実施しておりますが、本年以降も是非実施いたしたいと思っております。

組合は、更に資源の維持増大に努力し、秩序ある創業と適正なる資源の配分を行ない、漁民の生活安定に努力するとともに活気に満ちた明るい町づくりに組合員、役職員一体となって寄与いたしたく存じます。

昭和六十三年も、ご家族とともに、益々ご健勝で実り多き良い年でありますよう衷心よりご祈念申し上げまして新春のごあいさついたします。



標津町農業協同組合

組合長理事 吉田 昇

あけまして おめでとう

年頭にあたって

標津町の皆様、明けましておめでとうございます。

昭和六十三年の新春を町民の皆様とともに健やかで、心新たに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、わが国経済は急激な円高、ドル安が進展し史上最高値を更新し続ける中で、広範な産業の構造調整が進みました。輸出は、為替レート、海外需給動向のほか、

含みとなる一方、輸入は円高により製品類を中心に増加傾向にあります。

このため六十二年度においては経営収支黒字は縮少傾向に入り、また円高の進行による輸入原材料価格の低下から約二年続いた国内卸売物価の安定は、その後も落ち着きをみせ、消費者物価の上昇率は一%を切る水準にとどまっています。この結果個人消費は緩やかながら上昇しています。

厳しい状況の酪農畜産

一方、私ども酪農畜産においては、食肉価格は輸入外圧はあるものの、消費の伸びに支えられ堅調に推移いたしました。

また乳製品においても消費の伸びにより適正在庫となりましたが、乳価においては十%を超える大幅な引下げとなり、加えてガット提訴による農畜産物の輸入自由化問題など極めて厳しい情勢下におかれております。

当組合も、このような状況のもとで消費拡大運動、農畜産物輸入自由化阻止運動を展開するにあたり、町民の皆様にもご理解ご協力をいただき厚くお礼申

し上げます。

二月にガット裁定

ご承知のとおり農畜産物輸入自由化問題につきましては、今年二月のガット総会において裁定が出されることとなっておりますわが国にとって極めて厳しい内容となることも予想され、アメリカに対し二国間協議による解決を求めています。

農畜産物十二品目のうち、牛肉、乳製品、でん粉などについては本町農業の基幹産品でありなんとしても阻止しなければなりません。

農業は国民の

生活に不可欠

わが国の食糧自給率は年々低下しておりますが、農業は生活に不可欠な国民の食糧を安定的に確保するという重大な役割があり、その責務を果さなければなりません。本年においても、なお厳しい状況が続くものと思われしますが、今後ともより一層協同の力を発揮し、打開して参りたいと存じます。

当組合も五十九年、六十年に金融店舗、生活店舗の新築を行

ない、昨年度は更に石油スタンドおよび資材店舗の新築を行いました。組合員はもとより、町民の皆様にも、より良い生活物資をより安く供給し、サービスの向上に務めているところでございます。

町民の皆様とも調和を図り、親しまれ、信頼される農協を目指し、農業を通じ産業の発展と活力ある町づくりに寄与して参りたいと存じます。今後とも町民各位のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが町民の皆様の益々のご健勝と新しい年が稔りある幸多い年でありますようご祈念申し上げ新年のごあいさついたします。



あけまして
おめでとうございます。



年頭にあたって



標津町商工会

会長 後藤 一郎

昭和六十三年の新春を迎え、謹んでお慶びの言葉を申し上げますとともに、中小企業に関する所感の一端を述べ、年頭のあいさついたします。

商工会運営については、平素より町ならびに関係機関には深い理解とご協力を賜わりあつく感謝を申し上げます。

昨年の経済を顧みますと、本道においては、減反・減船・鉄鋼・造船そして石炭と、不況業

種を抱える中、我々中小企業をとりまく経営環境は厳しく推移しているものの、卸・小売業をはじめ若干の業種が売上高を伸ばすようになってきたことは、いちの光明がみえてきているものと思います。

自助努力が前提

これらに対処するには企業者個々の自助努力を前提とした強い協同精神が必要であると確信するものであります。

ご高承のとおり本町は漁業と酪農を主体とする一次産業の町ですが、昨年、町において二十一世紀に向け策定された「標津町まちづくり新計画」において外部に依存するだけではなく町内の資源や可能性を最大限に活かし、町民の知恵と力で標津町らしさを前面に出した「まち」を築こうと提言されています。

むらおこし事業を契機として

商工会においても本年度は、提言の一助にと、国・道・町ならびに関係機関のご指導ご援助を得ながら、地域小規模事業活性化推進事業（むらおこし事業）を重点事業として地域の資源を

活かした特色あるふるさと産業づくりに挑戦しようと準備にはいつています。

具体的には教育、研修、体験を通じてのふれあい観光、特産品・味覚の開発による「訪ねたい町づくり」を基本とし、本事業に基づく地域の資源を活かした特色あるふるさと産業づくりこそが、先人に対する報恩であり、次代を担う人々への励みとも考えます。また、基本計画のシンボル・テーマである「萌える海と大地・さわやか交流郷」具現化の一端になるものと信じます。

本事業実施には、町民多数の参加協力はもちろん、ご意見・ご提言・アンケートなどを参考に具体化していくことを考えております。

本年も厳しい状況化の出発ですが、常に内外の情勢を見極め事態に適合した諸対策を構ずるとともに英知を結集し、あらゆる努力を傾注し他産業との協調を旨とし最善を尽して参ります。終りになりましたが町民みなさまの益々のご繁栄とご清福をご祈念し年頭のごあいさついたします。



祝 標津町町制30周年

標津町は、昭和三十三年一月一日に町制を施行して本年度三十年目を迎えます。

この間、幾多の試練を乗り越えながら今日の発展をみたことは町民各位のたゆまぬ努力のたまものです。ここに町制施行三十周年を迎えるにあたり、私達町民は、町史の節目として先輩諸氏のご労苦に感謝するとともに、将来への発展を期するため諸行事を行って町民の皆様とともに祝いたいと思います。

萌える海と大地 さわやか交流郷

まのちの話題

925万9千円を体育文化振興基金へ

「標津町体育文化振興基金」へ、十二月十五日に荒谷標津町体育協会長は、小田桐町長へ九二五万九千円の通帳を手渡ししました。

この浄財は、標津漁協、標津町農協、上田組、漁業者、体協加入団体、個人の寄付により集められたもので、これにより、体育文化振興基金総額は、一四六五万円になります。

「町の支出を含め、将来は五千万円を目標に、利息だけで各種スポーツ大会への参加、文化行事の開催ができるように」と、町や体育協会、文化協会の考えです。

▼寄付ありがとうございます。

標津漁業協同組合様・標津町農業協同組合様・上田組様・奥村水産様・共栄水産様・共和漁業様・西山吉二様・菊池十一様・鈴木漁業様・本村水産様・駒山修治様・林秀雄様・森岡保様・佐賀淳悦様・布袋水産様・梅木水産様・南水産様・中野水産様・戸田水産様・本間清三様・平井弘治様・花田水産様・佐々木漁業部様・栄光水産様・丸五水産

様・中野漁業様・丸米水産様・薫別五洋水産様・田村漁業様・岡野漁業様・今野武右エ門様・標津町恵盟会様・鈴木誠様・標津料飲店組合様・標津電気商会様・カネト後藤商店様・後藤商店書店部様・高桑実様・標津料飲店組合役員一同様・標津町体育協会卓球部様・軟野連上田組野球部様・標津水泳協議会様・標津テニス協会様・標津町校長会様・軟野連スクラップ様・軟野連標津町役場野球部様・標津バレー協会様・標津卓球スポーツ少年団様・標津バトミントン協会様・和光様・軟野連標津漁協野球部様・軟野連標津漁協青年部野球部様・軟野連シーライアンズ様・軟野連イーグルス様・軟野連バイレーツクラブ様・軟野連プレントス様・軟野連川北商工会野球部様・軟野連川北メッツ様・あけみ食堂様・大垣勇様

寄付金を渡す荒谷体育協会長



梅木幹子さん(標津中一年)

全日本卓球選手権大会で一勝

全日本卓球選手権大会が十月二十二、二十三日の二日間、北九州市立総合体育館で行われ、少年の部(中学一、二年女子)に北海道の代表として梅木幹子さん(標津中一年)が出場し、梅木さんが出場した大会には全国から百四十六人が参加。一回戦は自分の選手と対戦し、二対〇と快勝。二回戦は第十シードの栃木の選手に二対二と惜負しました。標津卓球スポーツ少年団(平井弘治団長・団員三十三人)の選手が、この大会にコマを進めたのは、六十一年に団体、五十九年に梅木靖子さん(姉)と、今年で三回目。三回目にして始めて初戦を突破したものです。

「もつと練習を積めば、力はそのなに変わらないと思います。今回の出場で自信ができました」と、梅木さん。同行した監督の



練習中の梅木幹子さん

林良彦さん(体育館勤務は「ベスト8ぐらいになると、北海道との差があります。サーブ力、攻撃のバターンの多さ、北海道ではエースになる攻撃も全国では通用しないことが多い」と冷静に試合を分析しながらも、梅木さんの善戦に大変満足したようす。「地域の人に支えられて、北九州にまで行って来られました」と感謝の気持ちを語ってくれました。



私設博物館を建設

矢部武さんが 手づくりで

川北の矢部武さん(五三)は、昔の農機具、日用品など千点近くを集めた私設郷土博物館を設置しました。

この建物は、古い牛舎の廃材を利用。建坪四十八坪の二階建(他に中二階)で、かなり大きなものです。十月上旬から手がけ、息子さんの協力でおよそ二ヶ月で完成。経費は十万円程度と、かなり節約。

館内には、冬山造材に使うタマ引き(丸太のソリ)、ナタバロ(ササの根を切る道具)、馬車脱穀機、モーター、縄あみ機、水がめ、ワラ靴、タンス、ミシン、膳、スキーなど、生活必需品がびっしり。中には、第二回標準

町農協通常総会議案書も。大正時代から昭和初期くらいのもものがほとんどです。

矢部さんは「一人でも多くの人に見てもらいたい。農業の歴史を皆に知ってもらいたい。特に農業に携わった人に見てほしい。」

当時、金融機関は農業者を相手にしていなかったため、血のにじむ思いをして買い求めたものばかりです。これまでに、地域の方々数十人からさまざまな物を寄贈してもらいました。今後は、一つ一つ名札を付けたい」と話してくれました。

マキストープ前の矢部さん



昭和63年度酪農経営コンクールに参加した

—竹村誠司さん—

十一月二十五日から二十八日

までの四日間、栃木県藤原町で昭和六十二年度酪農経営コンクールが開催され、

標準町からは古多

棟の竹村誠司さん(三〇)が参加しました。

このコンクール

は、日本酪農青年研究連盟主催によるもので、竹村さんは、中標準地方連盟代表として全国十六人の発表者の一人として「データに基づく経営

管理の確立めざして」との題で発表したものです。

発表の内容は、父親から経営を引き継いだからのもので、今後の課題として(1)生乳出荷計画

量に過不足なく計画的に出荷す

り、また実行もしていた。黒沢

減(5)父親の労働の軽減化を上げています。発表の結果、奨励賞

を受けました。

る(2)乳牛個体の付加価値を高める(3)乳質の向上(4)外部委託放牧の自家育成などによるコスト削減(5)コンクールのようすを語る竹村さん



賞を受けた方は「農家の生活をゆとりあるものに」との内容でした。大会の中ではパネルディスカッションもあったのですが、

世間はガット問題で揺れている時期で、その事には触れないようにしている感じもありました。

本州の酪農も、規模的に北海道に引けをとらない農家も増えつつあり「北海道こそ」と胸を張れる状態ではない。最近、

円高により濃厚飼料が安くなっているため、牧草地を多く持つ北海道酪農より、内地の牛乳の単価の方が安くなっています。

北海道は、土地が広いため輸送コストもかきむし、土地に負けています。

全国各地から、色々な人達が来ていましたが、同じ職業を持つ者同志ですね。だれとでも話しができました。」

全国酪農青年研究連盟主催によるもので、竹村さんは、中標準地方連盟代表として全国十六人の発表者の一人として「データに基づく経営

管理の確立めざして」との題で発表したものです。

発表の内容は、父親から経営を引き継いだからのもので、今後の課題として(1)生乳出荷計画

量に過不足なく計画的に出荷す

り、また実行もしていた。黒沢

減(5)父親の労働の軽減化を上げています。発表の結果、奨励賞

明るいステンドグラス

完成した標津中学校 体育館

建設費一億九二〇五万円をかけた標津中学校体育館がこのほど完成しました。

アリーナの床面積は六六〇㎡で、バレーボールコートが二コートとれる広さをもっています。しかし、なんといっても目立つのが、直径九メートルの半円型のステンドグラス。たくましく育ってほしいとの願いから風雪に耐えるナラワラを配して標津の自然が画かれています。

色鮮やかなステンドグラス



標津漁業協同組合漁業指導管理船 「はくちょう」の竣工式

標津漁業協同組合漁業指導管理船「はくちょう」の竣工式が12月7日10時から標津漁港で行われ、関係者120人が出席しました。

「はくちょう」(14t)はFRP製で、最大速力25ノット。従来使用していた「はくちょう」の老朽化にともない、1億500万円をかけ新造したものです。

資源調査に密漁取締に活躍することになっています。

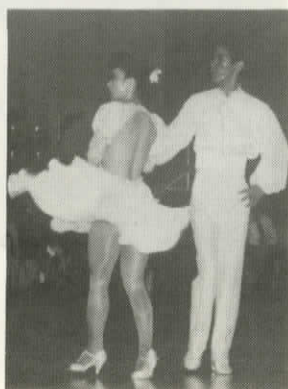
漁業指導管理船「はくちょう」



思わずため息

ダンスパーティーで エキジビション

田辺プロのタンゴ

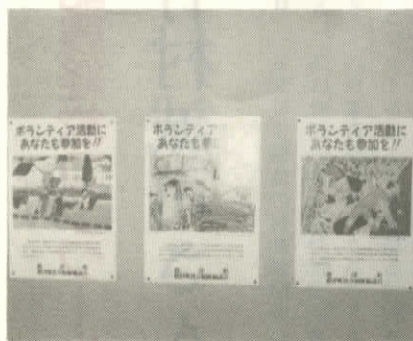


12月5日6時から標津町ダンス愛好会(村野光男会長・会員45人)主催による「社交ダンスの夕べ」が行われ、根室管内外から400人が参加しました。

パーティーでは、釧路の田辺慶一・裕子プロのエキジビションが行われ、華麗なワルツやタンゴの踊りに会場から思わずため息がこぼれるほどでした。

ボランティアポスターできる

…絵画コンクール入選作品より…



三点のボランティアポスター

町と社会福祉協議会が作製したボランティア啓発ポスターに過日行われたボランティア活動啓発作品コンクールで入選した子どもたちの絵が使われています。

このポスターは、三種類で、田中あさみさん(忠類小四年)、田中悦子さん(忠類小一年)、木川幸孝くん(北標津小三年)の作品です。



高嶋講師

昭和62年度「くらしの講座」を開催

標津町消費者協議会（田村君江会長・会員十九人）では、標津町文化祭の一環として十二月六日に「くらしの講座」を開催し、主婦ら五十人が出席しました。

講座では、北海道消費生活コンサルタントの高嶋澄子さんを招き、悪徳商法・訪問販売について、「玄関には必ず鍵をかけるように。被害届は実被害の五％程度にしかならない」と実態を説明。その後、参加者全員でチーズフォンデュを試食しました。

「熊谷さんは家族5人で出場」 第6回標津町防犯剣道大会

十一月二十九日に標津町鳩ヶ丘体育館において、標津町防犯協会（高橋明会長）主催による第6回標津町防犯剣道大会が行われ、十二チーム九十人が参加しました。

この大会は、町内会対抗戦で剣道の経験のないお父さんを通じてのなごやかなものです。川北の熊谷武男さんのチームは六人中五人が家族で出場。熱戦の末、優勝したのは住吉町チーム（戸田雅敏監督）で、高橋大会長より賞状とトロフィーが贈られました。



熱戦を展開する豆剣士

移動入浴車 寄贈される

役場福祉課に24時間チャリティ委員会から移動入浴車が贈られてきました。

この車は、ボイラー、水タンクなどの設備を加えると、およそ350万円。利用するお年寄りらは大変喜んでいました。



新しい移動入浴車

ホタテと粉石けんを 生活保護世帯 などに配付

標津漁業協同組合（西山組合長）はホタテを、標津娯楽センターの遠藤稔さんは粉石けんを「生活保護世帯や独居老人らに配ってください」と町に寄贈しました。



ホタテを配る福祉課職員



好調だったサケ定置網漁

サケ定置網漁 43億1978万円と過去最高水揚げ

今年の標津町の沿岸のサケ漁獲数は二五・一万三七八六尾、金額にして四三億一九七八万九千円と売り上げでは過去最高額を記録しました。

これは、アメリカ、カナダの魚価が高く、輸入量が減少したのと、在庫が少なかったこと。あるいは、ふ化場の銀毛サケづくりの成果もあったのでしょう。町内各河川の捕獲数合計は（八月～十一月末）九万四〇一六尾と昨年同時期よりは少ないが十二月中の捕獲数が伸びており昨年の数量に近づいています。

標津町農業共済組合 家畜診療センター完成

11月25日に川北公民館において標津町農業共済組合家畜診療センター落成記念式典が行われました。

あいさつにたった佐々木喜一郎共済組合長は「酪農経営の大型化、牛の疾病に対応するために新築した」と、念願の家畜診療センターの完成を喜ぶとともに「農畜産物の自由化は、ぜひ阻止しなければ。今こそ組合員の団結を」と昨今の農畜産物自由化に対する反対の決意を述べていました。



家畜診療センター

サーモンダービーを標津で

12月5日に「サケ・セミナー」

十二月五日午後二時から標津町商工会館において「サケ・セミナー」が行われ、北海道大学吉崎昌一助教授の講演に三十人が熱心に聞き入っていました。

日本では、開発建設部が河川管理し、水産・農林・自治体・住民との連携は全くない。河川を保護するには各層の協力が必要です。

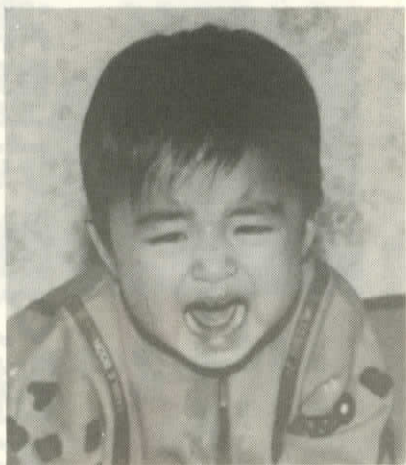
サケの会の代表でもある吉崎先生は「近代文明に毒されていない標津が好きだ。しかし、最近標津川も河川改修などで水が濁ってきているし、川に臭いが出てきている。川ザケも緑っぽくなり、きれいな婚姻色が見られない。このままでは前浜資源まで影響をおよぼす」と、自然破壊が進んでいることを指摘。「カナダでは、生産者、サケに関わる事業者、住民が一体となり、それぞれの立場でサケを守り愛している。小川にも魚が住めるように木を植えたり、石を入れたりして河川を守っています。森林は、外気を遮断し、川を熱から守り川魚の住みやすい場にします。」



吉崎講師

まい 古谷(敬直子)さんの麻衣ちゃん(62.1.3生)

緑 町 22



麻衣ちゃんは一人でベビーブックを見ていました。本には「ジャジャマル」「ピッコロ」「ポロリ」が載っていました。

カメラを向けると突然泣き出した麻衣ちゃん。

麻衣ちゃんは、12月に入って歩き始めました。今までの最高は8歩です。言葉もかなりしゃべるようになりました。カラスの「カー」は得意中の得意。犬や猫を見ても「カー」です。

麻衣ちゃんはお父さんが大好き。仕事から帰るといつもかくれんぼをするんです。お風呂に入れてくれるのはお父さんの役目です。

十一月初旬、東北を旅行しました。会津で有名な若松城や飯森山を見ました。城は会津の戦争で焼かれてしまった天守閣を新しく造ったものですし、飯森山は白虎隊が城の焼けるのを見て自害した山で、茶碗に飯を盛ったような形の小さな山で松が一面に茂っていました。十五、六才の少年隊が腹を刺し違えて殿様に殉じていった悲しいところ

ろでした。唄でも有名な会津磐梯山の美しい山容の下に猪苗代湖が静かに横たわっていて、そのほとりに野口記念館があります。野口英世が生まれ育った家で、煙で真っ黒にすすけていますががっしりした建物でした。その隣りに遺品が飾られている記念館があり、写真や衣服などがありませんが最も感激した



斉藤 三郎さん

(川北小学校長)

「一本の手紙」



ま
ち
の
声
・
声
・
声



23

のはお母さんが英世にあてた手紙でした。学校など知らないお母さんが手紙を書きたいので親になってから字を勉強したのだそうです。その字は小学一年生より下手な字です。あつちに曲ったり、こつちにそれたりでどうやら読めます。文章も福島弁なまりをそのまま書いているのでわかりずらいところもありますが、母の心が読む人の心に響いてくるのです。この手紙をもらった英世はきつと泣きながら読んで、がんばるぞと励まされたのでしょう。私も読んでいるうちに涙が出そうになって仕方ありませんでした。こんなお母さんの努力が、英世から手紙がきても読めるようになったのでしよう。

この一本の手紙だけでお母さんが立派だというだけでなく、ここを訪れてくる大勢の人々に深い感激を与えてくれるのです。外に出てみると、小さな流れの端の柿の木が黄色く鈴なりになっていました。猪苗代湖も昔のままに美しくひたひたと波をよせていました。

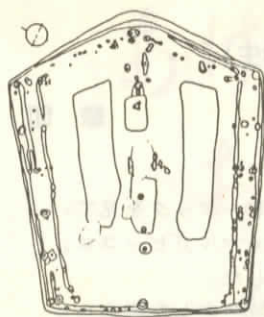
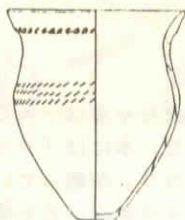
（次のあなたは斉藤さんが選んだ古多様の小玉茂樹さんです。）

標津堅穴群の謎をさぐる ⑤

標津の堅穴群の人々と一口に言っても、約800年の長い年代に渡って標津の地に住んでいました。そして、各時代時代の環境に合った生活文化を築きあげ今日に至っているのです。その文化は、シベリア・樺太・本州などの文化といろいろな関連があるのです。

オホーツク文化の土器と

堅穴住居跡



文化の通路

文化は直接人間の移住によって伝えられる場合、また、交易などによって異文化の一部を受入れるようなことが考えられます。北海道においては、シベリア・樺太を通じて沿海州から直接千島列島を通しての北方文化東北地方からの南方文化の通路が考えられますが、実際の主な通路は樺太・東北地方からのものが多いようです。

一つの文化圏

北海道の古代文化を見ると、札幌―千歳間(札幌低地帯)を境として文化が異なることが多いと言えます。札幌低地帯より南西の地域は、本州北部と同一の文化か、あるいは強い影響を受けた文化が発達します。これに比べて東側の地域は影響が弱く独自の文化が発達します。この境は本州北部の文化が強い場合は、北海道全域から樺太・千島

まで文化の影響が広がりますし反対に東北道道の文化が強い場合は、本州北部に広がることもあったのです。では具体的にはどんな文化があったのでしょうか。

北方の文化

シベリア・樺太からの移住者のもたらした文化では、石刃鏃(せきじんざく)文化とオホーツク文化が目立ちます。

石刃鏃文化は、

約7000年前の縄文時代(標津最初の住人より少し後)に石刃鏃と呼ばれる特殊な作り方のヤジリを使う人々の文化です。同じヤジリはシベリアから発見されているのでシベリアから北海道に移住した人々によってもた

石刃鏃を出す遺跡

文化の通路

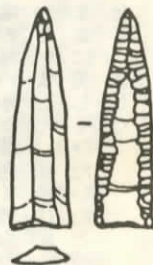
● 石刃鏃を出す遺跡



ポーチ川史跡自然公園
学芸員 堀田 光明

らされたと考えられています。北海道での分布は、東北部に集中しており、標津ではカリカリウス遺跡、ウラップ川第1遺跡、当幌河口第5遺跡など数ヶ所から発見されています。

オホーツク文化は、約1400年前の縄文時代の末期に沿海州―樺太からの移住者の文化です。海獣、魚貝類を獲るのを主とした海洋民ですが、カラフトタと呼ばれるイノシシに似た動物を飼育していました。北海道では利尻・礼文・稚内・枝幸・常呂・網走・斜里・羅臼・標津・根室・千島のオホーツク海沿岸沿いに分布します。標津では三本木遺跡が誰一のものです。



石刃鏃

1月 町民カレンダー 1988

曜 日	一般廃棄物収集区域(祭日は休みです。)	不燃物収集日
月・木	新川上町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	7日 21日
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・桜木町・住吉町・東浜町	8日 22日
水・土	川北・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	6日 20日

町民憲章 = 健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。

標津町町制施行30周年

1 10(日)	第12回標津町新春スプリント大会(9時~町営リンク) ファミリースキー教室(10時・金山スキー場)	25(月)	書き初め展示会(1/25~1/28・川北公民館)
11(月)	健康相談(10時~忠類生活館) 川北地区ファミリースケート教室 (1/11~1/13・13時30分・15時30分・川北スケートリンク)	26(火)	
12(火)	新春書き初め大会 (10時~標津公民館、10時~川北公民館) 乳幼児相談(10時~標津公民館)	27(水)	成人健康相談(10時~川北公民館)
13(水)	乳幼児相談(10時~川北公民館)	28(木)	妊婦相談(10時~基幹集落センター相談室)
14(木)		29(金)	健康相談(10時~基幹集落センター相談室)
15(金)	成人の日	30(土)	教育を語る会(13時30分・川北公民館)
16(土)		31(日)	
17(日)	ファミリースキー教室(10時・金山スキー場)	2 1(月)	
18(月)	健康相談(10時~薫別集落センター) (13時~崎無異)	2(火)	
19(火)	健康相談(10時~古多糠改善センター)	3(水)	乳幼児相談(10時~標津公民館)
20(水)	書き初め展示会(1/20~1/23・標津公民館)	4(木)	乳幼児相談(10時~川北公民館)
21(木)		5(金)	健康相談(10時~基幹集落センター相談室)
22(金)	老人カルタ大会(10時・古多糠寿の家)	6(土)	しべつ冬まつり(2/6~2/7)
23(土)		7(日)	ファミリースキー教室(10時・金山スキー場) 第3回標津卓球トーナメント大会(9時・総合体育館) 北方領土の日
24(日)	ファミリースキー教室(10時・金山スキー場)	8(月)	健康相談(10時~忠類生活館)
2月		9(火)	第19回標津町スピードスケート大会 (9時・町営リンク)

一般廃棄物収集区域(祭日は休みです。)	不燃物収集日
新川上町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	4日 18日
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・桜木町・住吉町・東浜町	5日 19日
川北・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	3日 17日

水道給水の凍結にご注意

—町役場水道課から—

寒さが厳しくなりました。

給水管の凍結にご注意！

※お出かけ前、お寝み前には、はじめにすべての蛇口(カラン)を全開(水を出しっぱなしにします)。

つぎに、水抜栓のハンドルを完全に閉めて水が抜けるのを確認して下さい。

※もし凍ったとき？

①蛇口にタオルか布切れをまいて熱湯をかけて下さい。

(水抜栓のパイプ部分には、水がなく凍りませんのでかけないで下さい。)

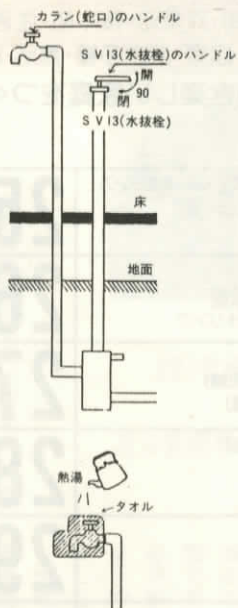
②それでも水が出ないときは、役場、又は下記業者へ連絡して下さい。

○大標設備工業有限公司 (☎2-3332)

○出口設備有限公司 (☎2-2479)

○更谷商会 (☎5-2036)

○奥商会 (☎5-2021)



水洗便所の凍結防止にご注意下さい。

●便所内に水道の元栓がある方は、台所の元栓と一緒に閉めることを忘れずに。

●就寝前や日中留守にする方は、ロータンクの水を抜くことを忘れずに。

もし、凍ったときは—

●大標設備工業 ☎2-3332

●出口設備 ☎2-2479

標津手話の会会員募集中

～あなたも手話の勉強をしてみませんか～

現在手話の会では、川口蓉治会長を中心に12名で手話の勉強をしています。手話に関心のある方、年齢は問いませんのでお気軽に手話の会をのぞいてみて下さい。(小学生・中学生・高校生大歓迎)

●時 / 毎週月曜日午後7時～9時

●場所 / 役場基幹集落センター2階(和室)

●講師 / 北村祐子さん

(根室支庁)根室手話の会会員。

年末調整等の書類の提出について

昭和62年分の年末調整関係の書類および償却資産申告書、牛の頭数調べ(農家の方のみ)の提出期限は、昭和63年2月1日となっておりますので、期限厳守の上、役場税務課まで提出願います。

おしらせ

第4回しべつ冬まつり

●期 間

63年2月6日(土)～11日(木) ○主祭日／6日(土)～7日(日)

●会 場

標津町商工会館前駐車場

雪像・氷像展・花火大会・味覚模擬店、その他愉快的催しが盛りだくさん！

雪像の制作団体を募集中です。職場・ご家族・サークルの仲間でもしどしご参加下さい。(自宅・職場前での制作も受付)

●主 催

しべつ冬まつり会

●主 管

第4回しべつ冬まつり実行委員会



統計調査にご協力を

調 査 名	調査基準日	目 的
工業統計調査	62年12月31日	事業所数、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額、などを調査し、工業の実態を明らかにする調査です。
工業実態基本調査	62年12月31日	中小企業の近代化と経営の合理化に資するための基礎資料をつくるための調査です。
農業基本調査	63年2月1日	農業の基本的事項を調査し、本道農業の実態を明らかにするとともに、農業諸施策の基礎資料を得るための調査です。
石油等消費構造統計調査	62年12月31日	商業、鉱業及び製造業の各部門における石油を中心とするエネルギーの産業別、規模別、地域別の消費の実態を的確に把握し、国・地方自治体などの各種の行政施策の基礎資料とするための調査です。

各統計調査とも事業所や家宅へ調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

マイプラン貯金 「DREAM」で 夢を育てませんか

夢をより確実なものとし育てるには、その内容や大きさによってより可能性の高い方法を選ばなくてはなりません。

マイプラン貯金「DREAM」なら、積立て方法が自由に選べますので、夢の実現がよりスムーズになります。

積立コースには1年から3年の期間に30万円から200万円まで積立てるプランをご用意していますが、皆様の目的とライフスタイルに応じて色々なコースを設定いたします。

また、マイプラン貯金「DREAM」に加入いただいた方には、プラスアルファの魅力「DREAMサークル」をご用意しました。新鮮な情報を満載した「ゆうライフ」の送付、様々な催しのお知らせ、ご招待、ご優待など色々な特典をうけることができます。

マイプラン貯金「DREAM」は、若々しい皆様のエンジョイライフを応援いたします。ぜひご利用ください。(標津郵便局)

町内の交通事故 (11月)

()内は1月からの累計

人身事故	2件 (17)
負傷者	2名 (26)
物損事故	13件 (148)
死亡者	0名 (0)

死亡交通事故ゼロの日

555日

(12月15日現在)

いかがですか あなたの健康

第二回(秋)成人病検診終わる

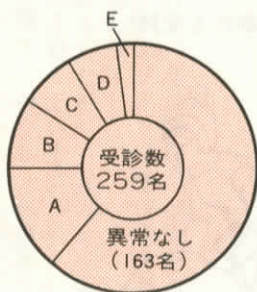
秋に実施した成人病検診の結果をお知らせします。

一次検診を受けた方は二五九名でした。そのうち一〇六名が二次検診の対象となりましたが、実際受けた方は七一名でした。結果の内訳は下のグラフをごらん下さい。

前回は高血圧症と貧血症の方が多く発見されましたが、今回は高脂血症が多く発見されました。この高脂血症とは、血液に含まれる脂肪が多くなる状態を言い、長く続くと動脈硬化が

すすんでいくものです。

二次検診を受けなければならぬ方で、当日受診できなかった方はそのままにせず、早い機会に検診の結果を持って病院で検査を受けるか、役場の健康相談をご利用下さい。



年に一度は自分の健康をチエツクしましょう。



殿村保健婦さん

シリーズ 高脂血症

① 中性脂肪について

今回の二次検査で、高脂血症と診断された方々にほとんど共通して高かったのが、脂質の中でも「中性脂肪」と呼ばれるものでした。糖分が肝臓の中で変化したもので、これが高くなると皮下脂肪となって太りすぎになったり、肝臓にくっついて脂肪肝という肝臓病になったりする恐れがあります。

★お酒類の飲みすぎに注意しましょう。
★太りすぎに気をつけて、積極的に運動しましょう。(散歩・ラジオ体操など)
これらは、他の病気の予防にもよく言われることですが、日ごろのたゆまぬ努力が病気の予防に決定的な差を生みます。

○来月号には「コレステロール」について記載する予定です。



★中性脂肪をあげないためには：
★砂糖や果物のとりすぎに注意しましょう。

寄付ありがとうございます

- ▶ 森本ヨシミさんは香典返しをやめて社会福祉協議会へ
- ▶ 聖友標津支所は活動資金として社会福祉協議会へ
- ▶ 中山実さんは叙勲受彰の記念として社会福祉協議会へ
- ▶ 中標津ロータリークラブは活動資金として社会福祉協議会へ
- ▶ 日本生命中標津支部親睦会一同は活動資金として社会福祉協議会へ

戸籍の窓口から

お誕生おめでとう

おなまえ	住 所	保 護 者
田中 修治ちゃん	茶パイロット	弘年さん
松實 奈々ちゃん	双葉町	吉計さん
任 真弓加ちゃん	桜ヶ丘町	有治さん
門田 千佳ちゃん	寿 町	勝弘さん
金田一智司ちゃん	双葉町	優さん
三上 玲奈ちゃん	川上町	中さん
坂本 和基ちゃん	薫 別	準さん
宮崎 麻美ちゃん	南古多郷	祐治さん
黒田 智英ちゃん	新川上町	高年さん

おくやみ申し上げます

おなまえ	住 所	年 令
森本 竹一さん	共栄町	90
東口 政直さん	新川上町	65
奥村 ムツさん	伊茶仁	73
佐藤 スムさん	古多郷	85
佐々木そめさん	伊茶仁	95

(11月16日から12月15日までの届出分)

人口のうごき

()内は前月比

人 口	7,212人 (-3)
男	3,559人 (0)
女	3,653人 (-3)
世帯数	2,222世帯(+2)